※令和４年度以降入学生用

学校番号	220

令和５年度　保育科

教科	保育	科目	（学）ピアノと音楽表現Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育士・幼稚園教諭・保育教諭に必須なピアノ演奏技術・技能（バイエル 40 番程度）と歌唱技術を習得するために、2 つの柱とした歌唱、器楽（ピアノ）の分野について年間を通して学習します。実際に取り組み、考えたことを試してみるとこで保育者に求められる豊かな感性を磨いてください。そして、幼児音楽への興味・関心をきっかけとして、自らの個性豊かな音楽の能力を高めてください。

２　学習の到達目標

（１）曲想と音楽の構造や歌い継がれてきた歌唱課題の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、子供たちを導くために創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）保育者としての自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、保育者自らが生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想を音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、ピアノ、歌唱で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すか、子どもに伝えるか、について表現意図をもっている。	主体的・協働的に表現の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ピアノの基本的な奏法を身に付けよう。	【ピアノ】 バイエル教則本 併用曲	a:・曲想とピアノ奏法との関わりについて理解している。 ・正しく楽譜を読み取り、創意工夫を生かしたピアノ表現をするために必要な、楽曲の表現にふさわしい運指法・打鍵法を身に付けている。 b:旋律やテクスチュア、表現様式の関わりを知覚し、自己のイメージをもって演奏表現を創意工夫している。 c:より豊かな表現をするために、ピアノの練習に関心をもち、主体的・協働的にピアノ演奏の学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
	音程や曲想を感じ取って歌おう。	【歌唱】 チューリップ ぶんぶんぶん むすんでひらいて こぎつね こいのぼり たなばたさま うみ	a:・歌詞のメッセージや心情と楽曲の背景との関わりについて理解している。 ・正しい音程をとりながら、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声法、呼吸法の基本的な体の使い方を身に付けている。 b:旋律やコード進行にかかわる知識や技能を得たり、意識しながら、それらの関りを知覚し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:わかりやすい発音や発声法と呼吸法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	ピアノの奏法を身に付けよう	【ピアノ】 バイエル教則本 併用曲	a:・曲想とピアノ奏法との関わりについて理解している。 ・正しく楽譜を読み取り、創意工夫を生かしたピアノ表現をするために必要な、楽曲の表現にふさわしい運指法・打鍵法を身に付けている。 b:旋律やテクスチュア、表現様式の関わりを知覚し、自己のイメージをもって演奏表現を創意工夫している。 c:より豊かな表現をするために、ピアノの練習に関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、ピアノ演奏の学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
	日本語の語感を感じ取って歌おう。	【歌唱】 とんぼのめがね おうま げんこつ山の 　　たぬきさん 大きな栗の 　　木の下で ジングルベル お正月	a:・歌詞のメッセージや心情と楽曲の背景との関わりについて理解している。 ・正しい音程を取りながら、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声法、呼吸法の基本的な体の使い方を身に付けている。 b:旋律やコード進行にかかわる知識や技能を得たり、意識しながら、それらの関りを知覚し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:表情豊かに子どもに伝えるために発音や発声法と呼吸法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	ピアノの奏法・表現力を身に付けよう。	【ピアノ】 バイエル教則本 併用曲	a:・曲想や音楽の構造とピアノ奏法との関わりについて理解している。 ・正しく楽譜を読み取り、創意工夫を生かしたピアノ表現をするために必要な、楽曲の表現にふさわしい運指法・打鍵法を身に付けている。 b:旋律やテクスチュア、表現様式の関わりを知覚し、自己のイメージをもって演奏表現を創意工夫している。 c:より豊かな表現をするために、ピアノの練習に関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、ピアノ演奏の学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
	旋律と和声の関係を感じ取って歌おう	【歌唱】 雪 とんでいった 　　バナナ うれしい 　ひなまつり ちょうちょう	a:・歌詞のメッセージや心情と楽曲の背景との関わりについて理解している。 ・正しい音程を取りながら、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声法、呼吸法の基本的な体の使い方を身に付けている。 b:旋律やコード進行にかかわる知識や技能を得たり、意識しながら、それらの関りを知覚し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:表情豊かにわかりやすく子どもに伝えるために発音や発声法と呼吸法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度